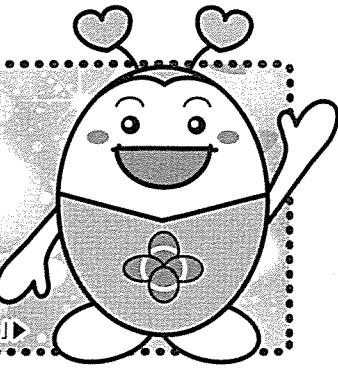


第67号 平成30年11月発行

# ボランティアだより

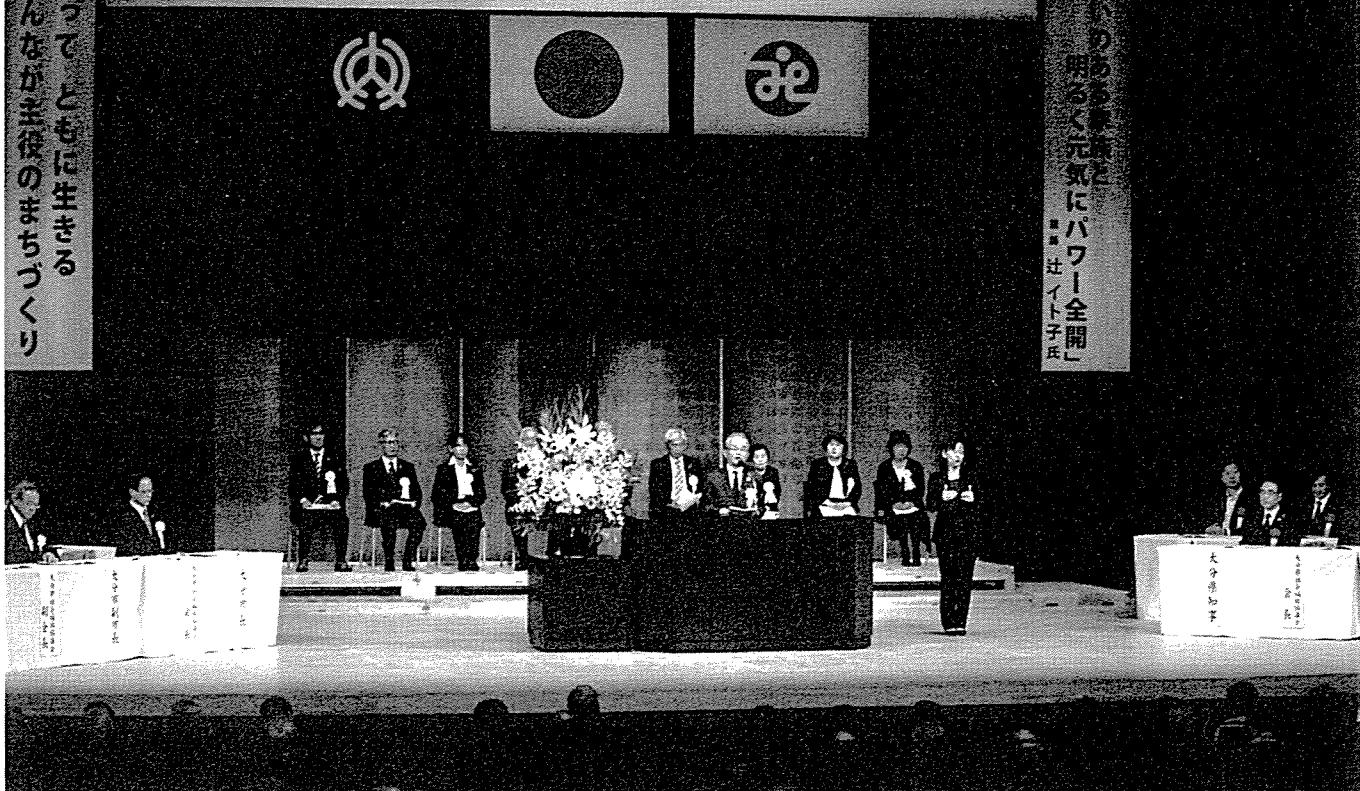
大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター 愛称「ふくしのヒロロちゃん」▶



支えあって ともに生きる みんなが主役のまちづくり

平成30年度 第49回大分市社会福祉大会 開催

## 第49回 大分市社会福祉大会



第49回大分市社会福祉大会が平成30年10月31日にJ:COMホールトホール大分で開催されました。この大会は、地域で社会福祉に携わる関係者及び市民の皆様が一堂に会し、永年地域福祉の発展に尽力された方々等を表彰するとともに、本市の社会福祉の更なる充実を目指すことを目的に開催しています。

大分市社協は、昨年に法人設立50周年を迎えて新たなスタートを切ったところですが、今年の大会も700名もの多数の方が参加して開催され、表彰式では、民生委員児童委員、社会福祉施設・団体及び役員、校(地)区社協、多額寄付者など福祉の向上に貢献された30団体41個人の方々に表彰状、感謝状が贈呈されました。そして、大会宣言で、地域における様々な課題に対して、全ての住民が安心、安全に暮らしていく地域社会の実現と地域コミュニティの再生を目指して、一丸となって取り組んでいく決意が新たにされました。

特別講演 || タレント 辻 イト子 氏

「障がいのある家族と明るく元気にパワー全開」

大阪のおばちゃんパワーで元気いっぱい!ご苦労された体験を前向きにとらえる姿勢に、会場は笑いと涙と感動でいっぱいになりました。



## 福祉学習講座

# 点字の理解を深める



大分市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内の小中学校を対象に福祉学習講座を実施しています。その中で「視覚障がい者理解」に係る内容として、「点字体験」を実施しています。本年度は16校で実施する予定で取り組んでいます。

身近にある点字だけよく知らない点字、近年点字は身近になっています。たとえば缶入り飲料や家電製品等に表示されているのは見たことがあるのではないでしょうか。現在小学校4年生の国語の教科書で点字が扱われています。

取り組みの内容を紹介します。視覚障がい者の講師の先生が障がいにかかわり、日常生活で困ることや工夫をして生活している様子を子どもたちに伝え、点字ブロックや白杖について説明し、理解を深めています。

点字体験では「点訳友の会」の方々にボランティアで点字体験の指導をしていただいている。点字版の升目の中に針で押しつぶし点を作っています。6点すべて押しつぶすと「め」の意味になります。子どもたちは点字の50音表を参考にして、まず自分の名前を打ってみます。その打った点字を講師の先生が実際にすらすらと〇〇さんですね。と名前の点字を触って読んでくれます。子どもたちは時間のたつのを忘れるほど熱心に点字体験に取り組んでいます。



### 感想より

- 視覚障がいの人は、字が読めないということが困ると言っていました。ですが、そのかわりに点字というものがあります。点字は勉強しないと読めるようにならないので、とてもすごいなと思いました。
- 初めて実際に目が見えない方にお話を聞きました。思ったこと一つ目は、点字ブロックや点字は本当に大切なもののなんだなということです。意識してみると、身のまわりにはたくさんの点字があります。もっと「ユニバーサルデザイン」が増えて欲しいなと思います。
- 今日教えてもらった「見守り、声かけ、ご案内」を進んでみたいと思いました。点字も初めて自分で打ってみたりして、それをすぐに読み取れるなんて自分には、できないので、本当にすごいなと思いました。家に帰ったら家族に今日のことすべて話したいと思います。

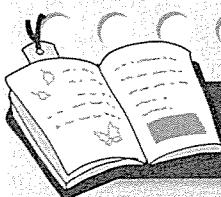
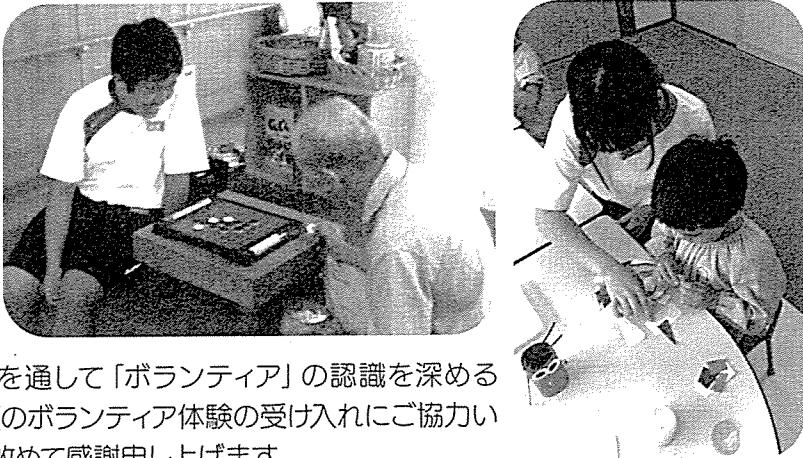
# 夏のボランティア体験

主に夏休みを利用して、高校生を中心に様々なボランティア活動を体験していただく「夏のボランティア体験」に、今年は602名の方が参加しました。

参加者の中には昨年から引き続きという方もいましたが、多くの方が初めてのボランティア体験で、様々な活動を通して「ボランティア」の認識を深めるきっかけになったようです。夏のボランティア体験の受け入れにご協力いただいた施設・団体の皆様に改めて感謝申し上げます。

## 体験者の感想

- ◎保育士は休む暇がないくらい動いていて大変そうだと思ったが、今回体験させていただいた今までよりも保育士になりたいという気持ちが強くなった。
- ◎仕事の大変さややりがいを感じることができてとてもいい経験になった。
- ◎食事介助をさせていただき、今一度人の命をあずかる仕事は大変だなあと感じた。
- ◎改めて福祉の勉強をして、ボランティアなどでもっと役に立てるように、学校での実技、知識を身につけたいと思った。
- ◎戦争を経験した人が多かったので戦時中に起きた大変なことなども聞けて勉強になった。この体験で医療系の道に興味を持ったのでこれからいろんな仕事を視野に入れて自分に合う仕事を見つけていきたい。



## 平成30年度 朗読ボランティア養成講座



9月12日(水)、ボランティアルームにて本年度も飯塚政利先生を講師に迎え「朗読ボランティア養成講座(全10回)」の開講式を行い、引き続き第1回の講座を開催しました。最初は発声方法やアクセントなどの読みの基礎を学び、いろんな読み物を読む講習を積み重ねています。全10回の講習で読み聞かせの技術を学んだ後、終了された方は朗読ボランティアのグループに所属し、活動に取り組まれています。

具体的な活動は高齢者施設、病院、保育園、子どもルーム等で行っています。最近は紙芝居を取り入れたり、人形劇風にアレンジして、物語を披露するなどの工夫をしながら、活動の幅を広げています。

## ボランティアだより

発行元・お問い合わせ

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホール大分4階

TEL: (097) 547-7419 FAX: (097) 547-9559 E-mail: [volun@oita-syakyo.jp](mailto:volun@oita-syakyo.jp)

開所日時: 月~土曜日 9時~18時 【ただし、第2・4月曜日(祝日の場合は翌日以降の平日)及び祝日、12月28日~1月3日は除く】

# ボランティアグループの活動紹介

大分市ボランティアセンターには、様々な分野でボランティア活動をする団体や個人の方々が登録されています。

平成30年10月末現在の登録者数 283団体 8,705人 個人 359人

(大分市ボランティアセンターのホームページにグループ名簿が公開されています)

## 寒田 あすなろ会

発足して六年目の比較的若いグループです。会員8名(男性3名、女性5名)で主に、老人ホーム・デイケアセンター・老人会・サロン等を訪問しています。

発足当初は、なかなかお呼びがなくて不安なったこともありましたが、最近はお蔭様で、月平均4回程活動しております。中には、定期的に訪問するところが6施設あり、思いがけないことで感謝しております。



今のところは、舞踊・フラダンス・唄・余興(皿回し、どじょうすくい、他)・ハーモニカ・大正琴等を披露しております。

公演が終わって大きな拍手をいただき、皆さんと握手をしながら退場するとき、「また来てね~」と声をかけられることが、元気の源です。

メンバーもだんだん高齢化してきており、かと言って新人の加入もままならず悩ましい問題ですが、創意工夫を重ねながら喜んでくれるお年寄りのいる限り、少しでも長く続けたいと思っています。

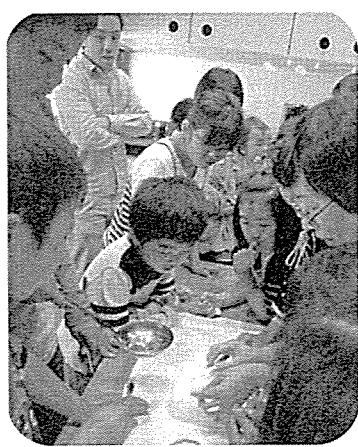
応援よろしくお願ひいたします。

代表 佐藤 宣弥



## 児童文学と科学読物の会

児童文学と科学読物の会は、故辛島泉さんが2人の仲間と立ち上げ今年で27年目をむかえました。現在会員21名、「子どもたちと科学の本の楽しさを、科学する喜びを」をモットーに活動しています。主な活動は、月に一度県立図書館の研修室でおこなう読書会と、子



どもたちとの科学あそびの会です。科学あそびでは、身近な材料を使って子どもたちと楽しくあそび、科学の不思議の一端を探っています。現在市内の公民館2カ所で定期的な会を、また夏休み等に要請を受けて県内の図書館や小学校の育成クラブ等に出かけています。毎回子どもたちの柔軟な感性に感心させられ、子どもたちからいっぱいエネルギーをもらっています。会員はそれぞれの地域で子どもの読書活動に関わっている人が多く、それぞれの地域で子どもたちとの楽しいふれあいが広がっていくことを願っています。一緒に活動しませんか。興味のある方は、いつでも気軽にお声かけください。

代表 勝谷 志保子

